

70. 二次元閉曲面体上ノ測地線ノ延長 (II)

(阿大) 矢島 猛

前誌(第5号:6月10日)デハ E (4) ハー次元連結集合デアルコトヲ証明シ
—205—

マシタ。本号デハ更ニ $E(a)$ ハ(1)局所連結ナルコト (2) *arcwise* ニ連結ナルコトヲ証明シマス。

6. 基本準備定理

先ツ前談話デ要ク用ヒタ $H(A, B)$ ノ論法ヲ整理シテ基本準備定理トシテ掲ゲマス。前談話ノ(4.C)以外ハ若手ノ修正ヲ施シテ此ノ基本準備定理ガ便ヘマスガ。(4.C)ハ卷ヘハ同ジデスガ此ノ基本準備定理トハ若干異ナリマス。

基本準備定理 一点 a ト三ツノ 集合 A, B, C ガアツテ

- (i) C ハ連結集合
- (ii) $x \in C$ ナラバ $\overline{ax} \cdot (A+B) \neq 0$
- (iii) $x \in C$ デ $\overline{ax} \cdot \bar{A} \neq 0$ ナラバ $\overline{ax} \cdot B = 0$, $\overline{ax} \cdot \bar{B} \neq 0$ ナラバ $\overline{ax} \cdot A = 0$
- (iv) $\overline{ax_1} \cdot A \neq 0$, $\overline{ax_2} \cdot B \neq 0$ トナル $x_1, x_2 \in C$ ガ存在スルトキ $x_0 \in C$ ガ存在シテ a, x_0 ハ少クモ三ツノ異ナル *g.s.* デ結バレル。即チ *split* ニナル。

(注) C ヲ二部ニ分ケル。 $x \in C$ ナルトキ $\overline{ax} \cdot A \neq 0$ トナル \overline{ax} ガアレバ、

$x \in C_A$, $\overline{ax} \cdot B \neq 0$ ナラ $x \in C_B$ トスル。(iv) カラ $C_A \neq 0$, $C_B \neq 0$ 三
(ii) カラ $C = C_A + C_B$. (i) カラ $C_A \bar{C}_B + \bar{C}_A C_B \neq 0$ 何レデモ同ジダ
カラ $C_A \bar{C}_B = 0$ トスル。 $x_0 \in C_A$, $x_i \in C_B$, $x_i \rightarrow x_0$ トナル x_0 ト
 $\{x_i\}$ ガアル。 $x_i \in C_B$ ダカラ $\overline{ax_i} \cdot B \neq 0$ トナル $\overline{ax_i}$ ガアル。 $x_i \rightarrow x_0$ ナ
ルトキ $\overline{ax_i}$ ハ a ト x_0 ヲ結ブ *g.s.* ノ一ツ $\overline{ax_0}$ ニ故歟スル。 $\overline{ax_0} \cdot \bar{B} \neq 0$
デアル。(iii)ニヨリ $\overline{ax_0'} \cdot A = 0$ デアル。シカルニ $x_0 \in C_A$ ダカラ $\overline{ax_0''} \cdot$
 $A \neq 0$ トナル $\overline{ax_0''}$ ガ存在スル。 $\overline{ax_0'}$ ト $\overline{ax_0''}$ ハ明ラカニ異ナルカラ a ト x_0
ヲ結ブ少クモ三ツノ *g.s.* 即チ *split* ガ得ラレタ。(以上)

基本準備定理ノ應用トシテ次ノコトガ言ヘマス。

(6.A) 任意ノ \overline{ab} ニ対シ $c \in \overline{ab}$, $cb < \delta/2$ ナル点 C ヲトレバ \overline{cb} ハ延長
出来ル。(\overline{cb} ガ延長出来ルトハ \overline{cb} ガ b ノ方向ニ延長出来ルコト)

(證) \overline{ab} 上ニ $cb < \delta/2$ ナル点 C ヲトルトキ \overline{cb} ガ延長出来ナイトスル。

b ヲ中心トシ cb ヲ半径トスル円ヲ K_b トシ。 C ヲ中心トシテ $\rho > 0$

($\rho < \text{Min}(ca, cb)$) ヲ半径トスル円ヲ K_c トスル。 K_c ハ \overline{ab} ニヨリ

ニツノ直ニ分ケラレル。其ノ両端ヲ含マナイ部分ヲ A, B トスル。又 K_b NA ノ交点ノ中 K_b 上デ C カラ最遠ノ点ヲ p , K_b NB ノ交点ノ中 C カラ最遠ノ点ヲ q トスル。 K_b ハ p, q ニヨリニツノ直ニ分ケラレル。 K_c ノ内部ト共通点ヲ持タナイ所ヲ p, q 包含メテ C トスル。点 C ヲ基本予備定理ノ a ト考ヘルト $\chi_0 \in C$ ガ存在シテ χ_0 ハ異ナルニツノ直ニ分ケラレル。コレハ $C\chi_0 \subseteq cb + b\chi_0 < \delta$ ニ示スル。

7. **定理 2. $E(\alpha)$ ハ局所連結デアル**

証) $p \in E(\alpha)$ ニ於テ $E(\alpha)$ ハ局所連結デナイトスル。 \overline{ap} 上ニ $qp < \frac{\delta}{2}$ ナル点ヲトレバ (GA) ニヨリ \overrightarrow{qp} 延長出来ル。其ノ延長上ニ p 十分近クイヲトル。別ニ q 於テ \overline{ap} ノ両側ニ (前述 §3. 参照) S, t ヲトレバ \overline{st} ハ \overline{ap} ト一点ヲ交ハル。ソレヲ改メテ q トスル。 Δrst ノ直径ヲ十分小サクトレバ内部ガアル。ソレヲ U_p トスル。

$p_i \rightarrow p$ トナル $E(\alpha)$ ノ点列 $\{p_i\}$ ガアツテ U_p ニ於ケル p, p_i ヲ含ム $E(\alpha)$ ノ成分 C_p, C_{p_i} ガ $C_p \cdot \overline{C_{p_i}} + \overline{C_p} \cdot C_{p_i} = 0$ トナツタトスル。 $\overline{ap_i}$ ハ $i \rightarrow \infty$ ナルトキ \overline{ap} ノ一ツニ収斂スルカラ初メカラ $\overline{ap_i} \rightarrow \overline{ap}$ ト仮定シテヨイ。故ニ \overline{st} ト $\overline{ap_i}$ ノ交点ヲ q_i トスレバ $q_i \rightarrow q$ 。簡單ノタメ $q_i \in \overline{st}$ トスル。任意ノ i ニ対シ $\chi_i \in \overline{q_i}$ ヲ適當ニトレバ $\overline{ax_i}$ ノ延長ガ \overline{st} 又ハ \overline{st} ニ交ハルヤワニ出来ル。同番 若ノソウデナケレバ $\chi_i \in \overline{q_i}$ ニ対シ $\overline{ax_i}$ ノ極遠点ハ U_p 内ニアル。其ノ集合ハ予備定理 2 ト同一ノ方法ニヨリ U_p ノ内部ニ於ケル $E(\alpha)$ ノ連結集合ニ含マレ 然ツテ $C_p \cdot \overline{C_{p_i}} + \overline{C_p} \cdot C_{p_i} = 0$ ニ反ス。故ニ $\chi_i \in \overline{q_i}$ ガアツテ $\overline{ax_i}$ ノ延長ハ \overline{st} 又ハ \overline{st} ニ交ハル 交点ヲ y_i トスル。 $\overline{xy_i}$ ハ U_p ヲニツノ部分ニ分ケ其ノ各々ノ部分ニ p, p_i ガ含マレタル。 $i \rightarrow \infty$ トスルトキ $p_i \rightarrow p$ 故カラ $\overline{xy_i}$ ノ向ノ点ヲ p ニ収斂スルモノガアル。コレハ $p \in E(\alpha)$ ニ反ス。

8. **予備定理 3 $p \in E(\alpha)$ ナルトキ $\varepsilon > 0$ ヲ十分小ニトレバ $E(\alpha) \cdot S(p, \varepsilon)$ ノ p ヲ含ム成分ハ arcwise ニ連結デアル。**

(証) $\varepsilon < \frac{\delta}{2}$ トシテ $S(p, 2\varepsilon), S(p, \varepsilon)$ ノ境界ヲ夫々 K_1, K_2 トスル。 $E(\alpha), S(p, \varepsilon)$ ノ p ヲ含ム成分ヲ C_p トスル。 $q \in C_p$ ナルトキ p, q ガ $E(\alpha)$

\overline{ac} が結ばれることヲ証明スル。 \overline{ap} と K_1, K_2 は夫々唯一点ヲ交ハル b, c トスル。 \overline{aq} は K_1, K_2 一般ニハ一点ヲ交ハラナイガ其ノ交点ノ集合ハ空集合ダカラ K_2 上ヲ C カラ一定ノ方向ニ進ムトキ最初ノ点ト最後ノ点ガアル。 夫々 r, s トスル。 K_2 ノ弧 \widehat{cr} 。 \widehat{cs} ヲ夫々 A, B トシ其ノ両端ヲ除イタモノヲ A', B' トスル。 又 $\overline{rs} = C$ トスレバ $C \subset S(p, 2\varepsilon)$ デ C ハ \overline{ap} ト交ハラナイカラ $A + B + C = K_2'$ トスレバ K_2' ハ円ト位相同等デ $S(p, 2\varepsilon) = \text{含まレ}$ p ヲ内部ニ含ム。 q ハ K_2' ノ内部ニ含まレル。 何者 若シ外部ニアレバ $C \subset p \neq 0$ トナリ C ガ \overline{ap} ノ向ノ点ノ集合ナルコトニ及ス。 $r \in \overline{qs}$ 又ハ $s \in \overline{qr}$ テアルガ $r \in \overline{qs}$ トスル。 \overline{rq} ハ K_2' ノ内部ニアル。 \overline{aq} と K_1 ノ交点ノ中 S ニ最も近い点ヲセトスル。

K_2' ノ内部ニアツテ \overline{rq} ト交ラズ且 p ヲ内部ニ含ム多角形 P ヲトル (多角形トハ有限個ノ点ヲ順ス q, s デ結ンダ円ト位相同等ナ図形) p ト \overline{ap} 交点 π P ノ順序ニ從ツテ d_1, d_2, \dots, d_n トスル。 d_i と d_{i+1} ヲ結ブ P ノ部分ヲ P_i トスレバ $P_i + \overline{d_i d_{i+1}}$ ガ P ヲ内部ニ含ムヤウナシガアル。 $i=1$ トスル。 P_1 ハ d_1, d_2 ノ他 \overline{ap} ト共通点ヲ持タナイ。 P_i カラ d_1, d_2 ヲ除イタ部分ヲ P_i' トスレバ $x \in P_i'$ 対シ \overline{ax} ハ $A + B' = \text{必ず交ハル}$ 。 又 $\overline{ax} \cdot \overline{A'} = \overline{ax} \cdot \overline{A}$ かつ $\overline{ax} \cdot \overline{B'} = 0$ デアル。 何者若シソウデナケレバ \overline{ax} ハ A', B' ト共通点ヲ持ツ y_1, y_2 トスル。 $y_1, y_2 \in C(p, 2\varepsilon)$ テアル。 $\widehat{cy_1} + \widehat{y_1 y_2} + \widehat{cy_2} = K_2''$ トスレバ P ハ K_2'' ノ内部ニ含まレ q ハ外部ニアル。 従ツテ $C(p, q)$ ガ連結ナルコトニ及ス。 故ニ $\overline{ax} \cdot \overline{A'} \neq 0$ ナラ $\overline{ax} \cdot \overline{B'} = 0$ 。 同様ニ $\overline{ax} \cdot \overline{B'} \neq 0$ ナラ $\overline{ax} \cdot \overline{A'} = 0$ 。 次ニ x ヲ d_1, d_2 ノ十分近クニトレバ $\overline{ax_1} \cdot \overline{A'} \neq 0, \overline{ax_2} \cdot \overline{B'} \neq 0$ トナル x_1, x_2 ノ存在スルコト明ラカデアル。

基本定理ニ依テ A, B, C トシテ A', B', P_i' ヲトレバ $x_0 \in P$ ガアツテ a, x_0, x 夫々 A', B' ニ交ハルニツノ q, s ヲ結バレル。 故ニ $x_0 \in E(a)$ 。 P ヲ任意ニトルトキ x_0 ノ集合ニ p, q ヲ加ヘタモノヲ $C(p, q)$ トスル。 $x_i \in C(p, q), x_i \rightarrow x$ ナラバ a, x ハ夫々 A, B' ト交ハルニツノ q, s ヲ結バレルカ又ハ x ハ p, q ト一致スル。 故ニ $C(p, q)$ ハ閉集合デアル。

次ニ $C(p, q)$ ガ連結集合ニナルコトヲ示フ 連結テナイトシテ P ヲ含ム成

分ヲ $C_1(p, q)$. 残りヲ $C_2(p, q)$ トシ $C_1(p, q)$ ト $C_2(p, q)$ ノ距離ヲ δ_1 トスル. $\delta_1 > 0$. $C_1(p, q)$ ト $K_2 + \overline{Yq}$ トハ閉集合ヲ共通点ヲ持タナイカラ距離 $\delta_2 > 0$ ガアル. K_2' 及び其ノ内部ヲ三角形分割シテ各々ノ三角形ノ直径ガ $\frac{\delta_1}{3}$ ($\delta_1 < \min(\delta_1, \delta_2)$) ヨリ小ニナルヤウニスル. $C_1(p, q)$ ノ点ヲ内部又ハ边上ニ持ツ三角形ノ和集合ノ境界ハ一般ニ数個ノ多角形カラナリ. 且 $C_1(p, q)$, $C_2(p, q)$, $K_2 + \overline{Yq}$ ノ点ヲ含マナイ. 其ノ中 $= P$ ノ内部ニ含ムモノガ存在スル. コレヲ P トスレバ P ハ K_2' ノ内部ニアリ $\overline{Yq} = \text{交フズ}$ P ノ内部ニ含ム. 故ニ $= P$ ノ上ニ $C(p, q)$ 点ガアル 矛盾故ニ $C(p, q)$ ハ連結集合デアアル.

$x \in C(p, q)$ トスレバ ax ヲ結び. 夫々 A, B' ト交ハルニツノ q S ガアル. $\overline{ax'}$, $\overline{ax''}$ トスル. $\overline{ax'} + \overline{ax''}$ ハ K_2' ノ部分ニ分ケ各々ノ部分ニ p, q ヲ含ムカラ x ハ $C(p, q)$ ノ cut point デアル. 故ニ $C(p, q)$ ハ p, q ヲ結フ arc デアル.

定理 3. $E(a)$ ハ arcwise ニ連結デアアル.

[證] 定理 2 ト 手編定理 3 トカラ容易ニ証明出来ル.

後記 コレデー應報告ヲ終リマス. $E(a)$ ガ arcwise ニ連結ナコトガ E へマシタカラ. コレカラ $E(a)$ ノ order ニ関スルコトハ容易ニ出マスガ面白クナイカラ省略シマス. 此ノ邊 $E(a)$ ノ 1-dim ベツチ数ト Ω ノ 1-dim ベツチ数が等シイコトモ成立シソウデスガネヲ証明出来マセン. (実ハコレガ本誌誌ノ主目的ナノデスガ). 尚此ノ研究ニハ手阪教授ノ一方ナラ又御指導ヲ得マシタコトヲ衷心ヨリ感謝致シマス. (1977. 11. 2)